

研究 Report



No. 1 令和4年 6 月 池袋本町小学校

昨年度に引き続き、今年度も池袋本町小学校では道徳科の研究に取り組んでいます。今年度の研究主題は「自分らしい生き方を求める児童の育成ー「考え、議論する道徳」の授業づくりを通してー」に決めました。昨年度の成果と課題を踏まえて、今年度は「①議論する授業の手立て②振り返り(学びの記録)の充実③教科等横断的な視点に立った授業計画、年間指導計画の見直し」の3つの視点を設定しました。学校長が掲げる「自分らしさが溢れる学校」という目指す学校像と重ね合わせて、道徳科の研究を通して「自分らしい生き方を求める児童」を育成してまいります。

研究を進めるにあたり、先日、児童の実態を把握するために実態調査アンケートを行いました。その結果から見えた児童の実態と教員の願いを踏まえ、今年1年研究を進めてまいります。今後、1学年につき1回ずつ研究授業を行う予定です。

今回の研究 Report では、第1回目の6年1組の研究授業の様子をお知らせします。

- 1 講師 元国分寺市立第五小学校校長
- 2 主題名 「自覚をもつということ」(C よりよい学校生活, 集団生活の充実)
- 3 教材名 「子ども会のキャンプ」
- 4 授業内容



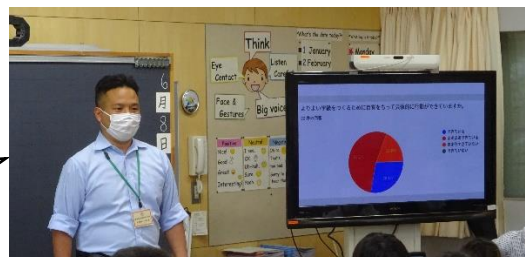
【本時の目標】

集団生活における自分の役割を責任をもって果たすには、日頃から最高学年としての自覚をもつことが大切であることを改めて考え、しっかりとした自覚をもっていこうとする実践意欲と態度を育てる。

【主な学習活動】

導入

事前アンケートの結果から、学級と学年に対する責任と自覚についてどう考えているのか、学級の実態に触れました。



展開前段

読み物資料「子ども会のキャンプ」を読み、
○班長として責任をもった行動とはどういうものなのか。
○主人公はどのような自覚をもって、班長としての責任を果たすことができたのか。(主発問の内容)
この2つの発問から、責任と自覚について、児童同士で話し合いました。



展開後段

自己の振り返りでは、責任や自覚をもつことについて改めて考えたことを書きました。

- ・自覚をしっかりもつには、日頃からの意識が大切。
- ・改めて最高学年としての自覚について考えた。
- ・クラブや委員会で自分の責任をしっかり果たしていきたい。などの考えが出ました。



終末

授業の終わりには、元担任の先生から、最高学年として頑張っている子供たちの様子について話をしてくれ、たくさん褒めてくれました。

